

EF58

直流電気機関車

共通組み立て説明書

Bトレインショーティーは、Nゲージサイズのミニモデルです。
パーツを交換すればNゲージモデルとして遊ぶことができます。

Nゲージってナニ？

Nゲージとは、鉄道模型の縮尺(スケール)の規格で、ゲージ(軌間:レールとレールの幅)が9mmになっています。9=NineなのでNをとって「Nゲージ」と呼ばれています。(9mmゲージとも言います)車両の縮尺は、多くの日本型車両は1/150、新幹線や外国型車両は1/160になっています。そして、この「Bトレインショーティー」もコレクタブル・トイでありながら、Nゲージの規格に合わせた1/150スケールショーティーとなっているので、KATO製品とのパーツ互換性もあり、動力ユニット等との簡単なパーツ交換でNゲージの線路上を走らせることもできます。また、それらのNゲージのパーツを使って、更なるディテールアップや改造も楽しめます。

*Bトレインショーティーの最新情報はこちら…<http://B-train.channel.or.jp/>

Bトレインショーティー・ラインナップ

*JR&国鉄の車両がいっぱい!電車はもちろん、機関車、客車・貨車もたくさん!

■レギュラーシリーズ(パート1~16)

ブラインドパッケージ: 何が出るかはおたのしみ。(シークレットあり)
1パートは16種~24種づつの発売となります。
1箱420円(税込み)

*欲しい車種をまとめて、4両編成で揃えるチャンス!

■4両編成セット・シリーズ

JR、国鉄車両の4両編成セット。1箱1,680円(税込み)

*日本全国のカラフルな私鉄車両が続々登場!

■私鉄シリーズ

先頭車+中間車の2両セット(一部を除く) 1箱1,050円(税込み)

*1両から気軽に楽しめる!ノスタルジックな旧型車から、最新の軽快電車まで。

■路面電車シリーズ(パート1~3)

ブラインドパッケージ: 何が出るかはおたのしみ。(一部にシークレットあり)
1パートは12種づつの発売となります。
1箱399円(税込み)

全国の模型店、Nゲージ取り扱い店にてお買い求めください。
(品切れの際はご容赦ください。また商品によってはすでに販売を終了しているものもあります。)

他にも、各鉄道会社より限定販売商品も次々発売中!

Bトレインショーティーの最新情報はこちらまで...
Bトレインショーティー オフィシャルサイト <http://B-train.channel.or.jp/>

*表示の価格は、メーカー希望小売価格(税込み)です。

＜お買い上げのお客様へ＞

不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

バンダイお客様相談センター

(東日本) 柏市豊田4-21-22 ☎277-8511 ☎04-7146-0371
(西日本) 大阪市北区豊崎4-12-3 ☎531-0072 ☎06-6375-5050

●電話受付時間 月~金曜日(祝日を除く)10時~16時

●電話番号はよく確かめてお間違いのないようご注意ください。

Nゲージのパーツ交換について

Bトレインショーティーは、Nゲージのパーツを取り付けることでNゲージの線路上を走行させたり、よりリアルにディテールアップさせたりすることができます。

■動力ユニットの取り付け

■機関車への動力ユニットの取り付け

*KATO製「ポケットライン用動力ユニット」を使用します。このとき、スカートは外してからシャーシと交換・装着します。

品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

■電車・気動車への動力ユニットの取り付け

*KATO製「小型車両用動力ユニット」を使用すると、無加工でシャーシと交換・装着ができます。

品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
品番11-107 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ

*KATO製「チビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。

品番11-104 チビ客車用動力ユニット

■トレラー車への台車取付

*床板には直接、ピン取り付け方式の各種台車を取り付けすることができます。

*旧床板を使用の場合は、床板の高さを右図を参考に切り取ってください。

品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
品番11-097 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ



通勤電車①
コイルバネ台車タイプ



急行電車①
空気バネ台車タイプ



通勤電車②
ポルスタレス台車タイプ

■パンタグラフの交換

*お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

品番11-401 PS14: 直流パンタグラフ
品番11-403 PS22: 直流下掛変形パンタグラフ
品番11-404, 11-420 PS16: 直流パンタグラフ

*ピン圧入方式の各種パンタグラフを取り付けられます。

*11-420は屋根穴が4個の屋根に対応します。

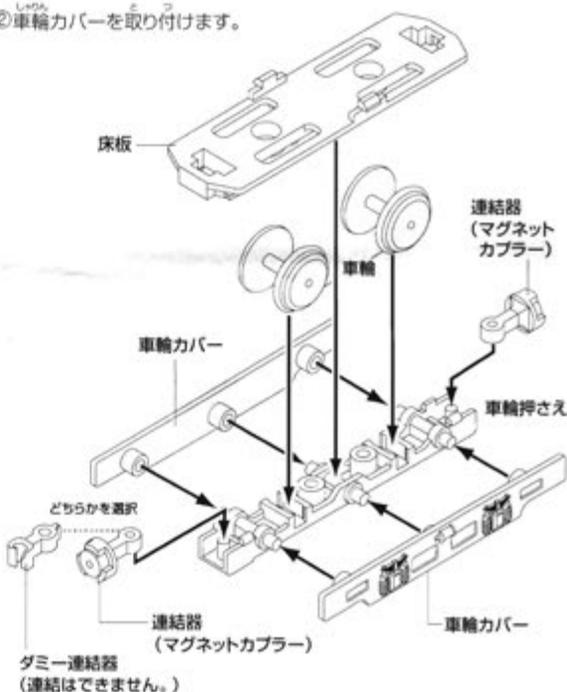
*各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。
*トレラー台車、パンタグラフなどの交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが深い(浅い)ものもありますので、この場合はそれぞれ調整のうえ取り付けてください。

■シャーシの組み立て

①車輪押さえに連結器、車輪を

それぞれセットして、床板を合わせます。
車輪押さへのポケット部はパチンとなるまで
しっかり押し込んでください。

②車輪カバーを取り付けます。



■車体の組み立て

- ①左右のブロックを合わせます。
- ②屋根を取り付けます。
- ③左右の側面を取り付けます。
- ④前面に前端ばりを取り付けます。
- ⑤前面を取り付けます。
- ⑥パンタグラフを取り付けます。
- ⑦シャーシのつめに合わせて車体をかぶせて完成です。

*正面、側面、屋根パーツには数種のバリエーション・パーツがあります。これらのパーツは、セットごとに各一種が入っています。

原型(水切なし)大窓タイプ

大窓タイプ

ひさし付き大窓タイプ

ひさし付きタイプ

一体型ひさしタイプ

後期Hゴム窓タイプ

パンタグラフ

電暖タイプ

屋根

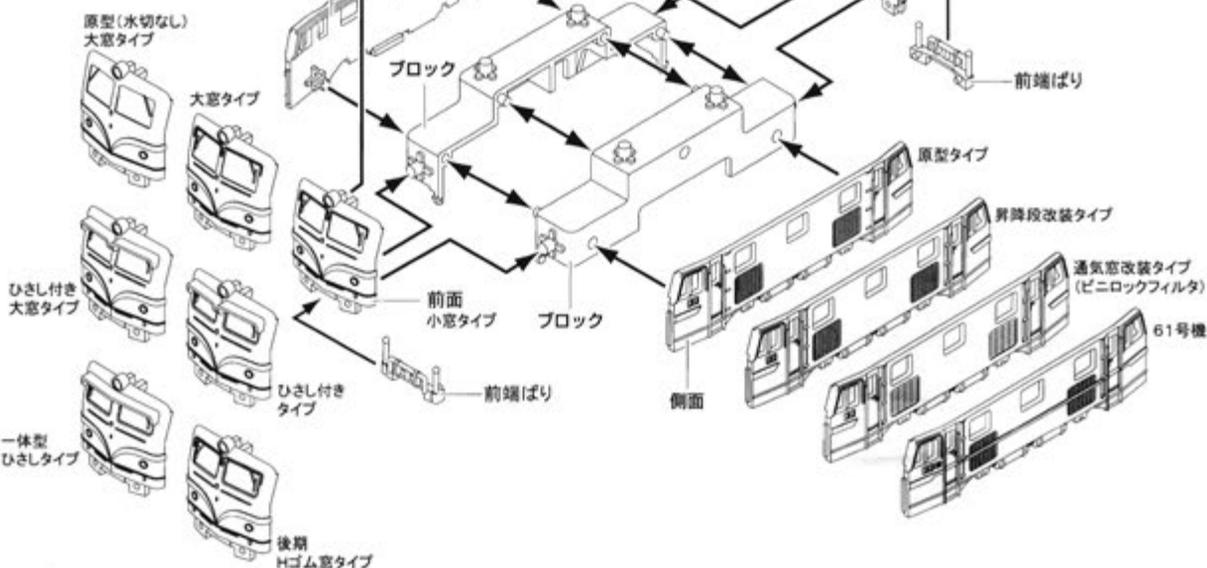
*Nゲージ動力の取り付けについて

ポケットライン用動力ユニット(KATO製・品番11-103)を装着することができます。

EF58型は前端ばりを外し、正面パーツ下部の前端ばり取付座を切り取ってください。
(*工具のお取り扱いには十分注意してください。)

*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

EF58



EF58の形態について(ちょっとこだわる人向け...)

EF58・直流電気機関車はS21年にデッキ付き車体で登場。途中の35号機からは箱型車体となって、S33年の175号機まで10年以上も製造が続けられました。長い間の製造の途中ではマイナーチェンジも繰り返され、また、車体各部の後年改装によって、様々なバリエーションが存在することになりました。この形態の違いを1両1両全てを書き出すことは難しいですが、特徴的なものを挙げておきますので組み立て時の参考にしてください。

前面の形状について①(大窓車について)

大窓で落成したのは、35~70号機。

また車体乗せ替えグループの大窓タイプは、7, 10~12, 16, 18~20, 22, 25, 28, 29, 31号機。

このうち69, 70, 7, 18, 19, 22号機は、当初から窓上の水切り付き。(他は水切り無しで落成。)

最後まで大窓のまま残ったのは、7, 16, 18, 19, 22, 28, 29, 31, 40, 43, 47, 53, 61, 64, 66, 69号機。

このうち7, 16, 29, 40, 43, 66号機はひさし付きに、その他は水切り付きとなっていました。

前面の形状について②(Hゴム化について)

落成時からHゴム化されていたのは、156, 164~166, 169~174号機。

さらに後年改装によるHゴムタイプは、1~5, 10~12, 14, 20, 23, 25~27, 35~39, 41, 42, 44~46, 48~52, 54~60, 62, 63, 65, 67, 68, 70~72, 77, 81~91, 93, 94, 99, 102~110, 114, 116, 117, 119~124, 128~137, 141, 142, 144, 145, 147~149号機と、151号機以降の小窓車に施工されています。

前面の形状について③(ひさしの取り付けについて)

ひさし(つらら切り)付きとなったのは、7, 29, 35~47, 49~52, 58, 59, 63, 66, 67, 70~72, 86~90, 102, 104~107, 110, 120, 121, 130~137, 152, 153, 173~175号機でした。なお、一部の車両は再度ひさし無しに改装されています。

側面の形状について①(通気窓の改装について)

側面通気窓は、全車よろい戸タイプで落成しましたが、後年改装によってピニロックフィルタに交換されています。

なお、35, 37, 49~52, 58, 59, 61, 67, 68~73, 86~90, 102, 104~110, 120~124, 130~137, 146, 148, 152~154, 173~175号機は、廃車時までよろい戸のまま残っていました。

側面の形状について②(屋上昇降段の改装について)

乗務員扉横の昇降段は落成時は手すりのみでしたが、安全性の問題から欠き取りをつける改造が行われています。

なお、11~18, 20, 38, 42, 44, 45, 51, 83~85, 116, 117, 119号機は、廃車時まで欠き取りは付けられませんでした。

屋根の形状について①(電気暖房化について)

電気暖房化改造された車両は、35, 50, 51, 58, 59, 70~73, 84~87, 89, 90, 102~105, 107~110, 114, 116, 117, 119~123, 130~137, 141, 144, 145, 151, 152, 154, 168, 172~175号機です。これらの車両は、屋上の水タンクハッチが撤去されています。

車体番号・EF58(前面中央、後面中央)

EF 58 1	EF 58 1	EF 58 1	EF 58 1	EF 58 17	EF 58 17	EF 58 17	EF 58 17
EF 58 2	EF 58 2	EF 58 2	EF 58 2	EF 58 18	EF 58 18	EF 58 18	EF 58 18
EF 58 4	EF 58 4	EF 58 4	EF 58 4	EF 58 66	EF 58 66	EF 58 66	EF 58 66
EF 58 6	EF 58 6	EF 58 6	EF 58 6	EF 58 81	EF 58 81	EF 58 81	EF 58 81
EF 58 8	EF 58 8	EF 58 8	EF 58 8	EF 58 84	EF 58 84	EF 58 84	EF 58 84
EF 58 9	EF 58 9	EF 58 9	EF 58 9	EF 58 89	EF 58 89	EF 58 89	EF 58 89
EF 58 10	EF 58 10	EF 58 10	EF 58 10	EF 58 90	EF 58 90	EF 58 90	EF 58 90
EF 58 11	EF 58 11	EF 58 11	EF 58 11	EF 58 101	EF 58 101	EF 58 101	EF 58 101
EF 58 12	EF 58 12	EF 58 12	EF 58 12	EF 58 111	EF 58 111	EF 58 111	EF 58 111
EF 58 13	EF 58 13	EF 58 13	EF 58 13	EF 58 116	EF 58 116	EF 58 116	EF 58 116
EF 58 16	EF 58 16	EF 58 16	EF 58 16	EF 58 122	EF 58 122	EF 58 122	EF 58 122
EF 58 18	EF 58 18	EF 58 18	EF 58 18	EF 58 127	EF 58 127	EF 58 127	EF 58 127
EF 58 19	EF 58 19	EF 58 19	EF 58 19	EF 58 136	EF 58 136	EF 58 136	EF 58 136
EF 58 19	EF 58 19	EF 58 19	EF 58 19	EF 58 136	EF 58 136	EF 58 136	EF 58 136
EF 58 21	EF 58 21	EF 58 21	EF 58 21	EF 58 136	EF 58 136	EF 58 136	EF 58 136
EF 58 43	EF 58 43	EF 58 43	EF 58 43	EF 58 161	EF 58 161	EF 58 161	EF 58 161
EF 58 52	EF 58 52	EF 58 52	EF 58 52	EF 58 190	EF 58 190	EF 58 190	EF 58 190
EF 58 53	EF 58 53	EF 58 53	EF 58 53	EF 58 197	EF 58 197	EF 58 197	EF 58 197

BANDAI 2005 MADE IN CHINA